

# まつどミュージアム

MATSUDO MUSEUM No. 15 2007年(H19)3月



●今号の表紙

## 深鉢形土器

【国指定重要文化財】

松戸市幸田貝塚出土  
縄文時代前期 高 28.0 cm

コレクション紹介

こうで  
幸田貝塚からは縄文時代前期前半に盛  
んにつくられた関山式土器が数多く出土  
しています。この関山式土器は数ある縄文  
土器のなかでもその名の由来である“縄文”  
が最も発達した土器群の代表的なもので、  
関東地方から東・北日本一円に分布する  
ものです。写真の土器は関山式土器後半期  
のもので、ほぼ完全な形です。大きな波状  
口縁の一端に片口かたくちと呼ばれる注ぎ口が  
つけられ、組紐くみひもを転がしてつけた地文に  
はんさい  
半截した竹管による幾何学的な文様が  
描かれています。また、縄文時代を代表す  
る土器の一つとして、平成10年、パリ日本  
文化会館を会場として開催された文化庁  
主催海外展「JŌMON」で展示されました。

大谷口歴史公園として一部が保存・整備された小金城跡のある北小金駅周辺には、中世以前の遺跡も数多くあります。その代表的なものが、縄文時代前期前半の集落遺跡として日本有数の規模を誇る幸田貝塚です。この幸田貝塚の出土品は、縄文時代研究の上で高い学術価値を持つことから、平成6年6月に一括して国の重要文化財に指定されています。

# 小金の遺跡

今回の館蔵資料展では、この幸田貝塚をはじめとして、中芝遺跡(古墳時代中期)・大谷口遺跡(弥生時代中期)・殿平賀向山遺跡(古墳時代前期・後期)・小金1号墳(古墳時代後期)・仲通遺跡(古墳時代中期)の6つの遺跡の出土品を展示します。これらの展示品を通じて、小金地域の長い歴史を感じていただければ幸いです。(当館学芸員 松尾昌彦)

4|28(土)▶6|17(日)'07

場所 / 市立博物館・企画展示室

観覧無料

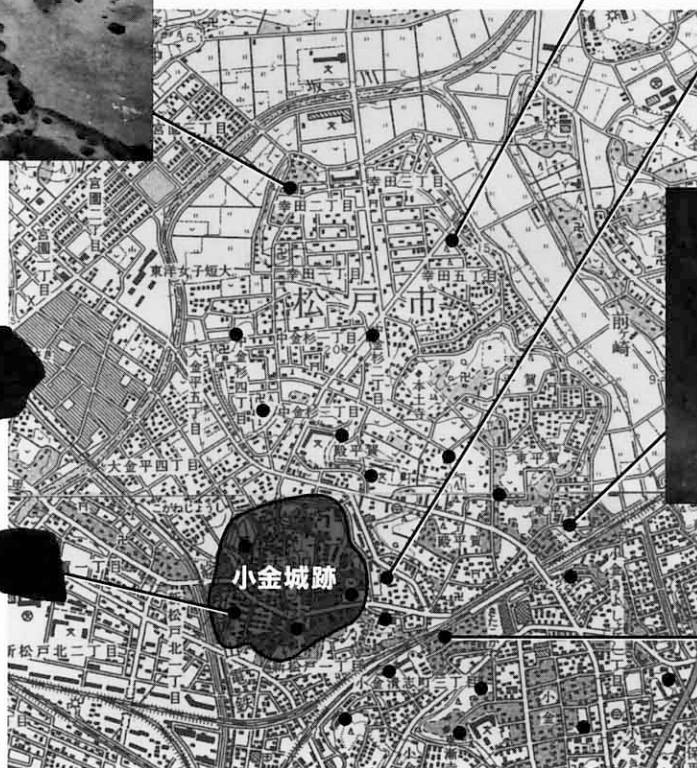
縄文時代  
古墳時代



幸田貝塚竪穴住居跡群



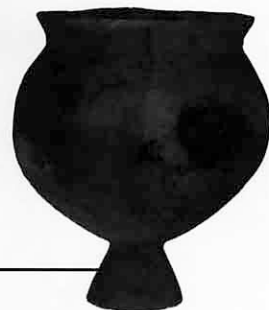
大谷口遺跡出土弥生土器



国土地理院発行25,000分の1地形図「流山」・「松戸」より作成  
●は遺跡の場所



中芝遺跡第5地点  
1区住居跡出土高杯



殿平賀向山遺跡  
6号住居跡出土台付甕



仲通遺跡第2地点1号住居跡貯蔵穴



小金1号墳出土円筒埴輪

## 生活経験のなかの「昔」とは

松戸市立博物館学芸員 青木 俊也

松戸市立博物館では、昨年7月から9月に学習資料展「昔の暮らし探検」を開催した。この展覧会は、小学校4年生の社会科のカリキュラム「きょうどにつたわるねがい」に関連させたもので、同じ趣旨の展示を平成9年度から毎年、続けて開催している。この展示では、身近な生活の歴史を対象にするなかで農家の暮らしに使われた資料を衣食住、米づくりをテーマに展示し、それらの生活のなかの知恵や技を子どもたちに伝えている。このようにくらしていた「昔」として、小学生の祖父母世代が生まれた年代を想定し、70年程前という年代に設定している。現在から数えての70年前である1937（昭和12）年の暮らしを展示に表現すれば、アジア・

太平洋戦争下という状況が反映されることになる。戦前における手仕事をいかした暮らしを現在の子どもたちに伝えるというこの展示の主旨のなかで、戦時下の暮らしを展示に表現することは難しい。

さて、この学習資料展を始めた平成9年から数えた70年ぐらい前と、現在からでは10年もの時間差が生まれている。そのような時代の推移に対応するならば、80年程前と年代表記を変えることも考えられるが、そうしたならば祖父母などから昔の暮らしの話を聞くという、この展示が意味する「昔」の特色をなくしてしまう。このように明確な年代設定とはいえないがたいこの展示の「昔」は、民俗学などによる聞き取り調査が及ぶ年代の範囲と同様に動き続けていかなければならない。子どもたちの父母世代はもちろんのこと、祖父母の世代の人たちの生活経験が、手仕事を主とした暮らしから遠ざかっていることを念頭にこの展示をつくっていかなければならないと感じている。

## アンケートボックスの中の声

昔は団地のなかに入ることができなくてつまらなかった  
ので、中も見学できるようになって楽しかったです。  
（20代 女性）

最初きた時（開館当初）は、団地の展示をみるだけだった  
のが、入って見れて楽しかったし、良いと思いました。  
（30代 女性）

博物館より：開館当初（1993年4月）には、常盤平団地2DKの展示はベランダのガラス窓越しに部屋のなかの暮らしを見ていただいております。しかし、部屋のなかに入って見学したいという観覧者の方々の声に応じて、2000年10月よりダイニングキッチン側の窓を開けて、玄関にまわる見学ルートをつくりました。当初は手作りのルートでしたが、その後スチール製の手すりを付けるなど改善をしてきました。これからも皆様のご要望に応じてまいりたいと思います。



▲ベランダからダイニングキッチンへ。玄関から出られます。



◀開館当初は窓を閉めていて中を見学できませんでした。

貴重なご意見ありがとうございました。これからもご意見・ご感想をたくさんお寄せください！

# 行事案内

## 展示

### 館蔵資料展

「小金の遺跡—縄文時代～古墳時代—」  
4/28(土)～6/17(日)

会場／企画展示室 ◎観覧無料

詳細は2頁をご覧ください。

## 講座・講演会

### 学芸員連続講演会

展示でみる・歩いてみる松戸の歴史①

「小金の遺跡を歩く」(市立博物館・友の会共催)

4/21(土) 14:00～16:00

※当日雨天の場合は翌週(4/28)実施

内容／講師と共に展示室または市内の旧跡を見学し、解説を聴くシリーズ第1回

講師／古里節夫(学芸員)

集合・解散／本土寺山門前

定員／40名(応募者多数の場合は抽選)

費用／200円(友の会会員は無料)

申込／往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、市立博物館「歩いてみる松戸の歴史」係(TEL 047-384-8272)へ。  
4月5日(木)必着。

### 「映像でみる歴史と文化」

5/3(木・祝)・4(金・祝)・5(土・祝)

各日14:15～14:55 [全3回]

内容／映像資料で歴史を紹介します。

- 5/3「山の子供の歳時記」
- 5/4「雪の中に歓びあり」
- 5/5「合掌の里に念仏が聞こえる」(各40分)

場所／講堂 定員／80名(当日先着順)

費用／無料

### こども体験教室「ロウソクをつくってみよう」 (こどもまつり協賛行事)

5/3(木・祝)①10:00～12:00 ②13:00～15:00

内容／西洋ロウソクづくりを体験します。

講師／担当学芸員

場所／実習室

定員／各30名(当日先着順)

対象／小学生

費用／無料

### 昔のくらし体験教室「米づくり」

5/12・5/19・6/23・8/4・9/8・9/22・12/1

の各土曜日 [全7回]

※雨天の場合は翌日の日曜日に延期

5/12は13:00～16:00

5/19～9/22は9:30～12:00

12/1は9:30～15:00

内容／代かきから収穫まで、米づくりの一連の作業を体験します。

講師／青木俊也(当館学芸員)

場所／実習室・水田ほか

定員／15名(事前申込み・抽選)

対象／小学校4～6年生(全回参加できる方)

費用／無料

申込／往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・学年・電話番号を明記して、市立博物館「米づくり」係(TEL 047-384-8272)へ。

5月2日(水)必着。

- <第1回> 5/12 勉強会、田起こし、代かき
- <第2回> 5/19 田植え
- <第3回> 6/23 田の草取り
- <第4回> 8/4 かかし作り
- <第5回> 9/8 稲刈り
- <第6回> 9/22 脱穀
- <第7回> 12/1 米をかまどで炊く、しめ飾りづくり

### 市立博物館・友の会共催講演会

「旧大名が建てた明治の邸宅～戸定邸と堀田邸～」  
5/12(土) 14:00～16:00

講師／濱島正士氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

場所／講堂

定員／80名(応募者多数の場合は抽選)

費用／200円(友の会会員は無料)

申込／往復ハガキ(1人1枚)に住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、市立博物館「明治の邸宅」係(TEL 047-384-8181)へ。4月20日(金)必着。

### 学芸員連続講演会

展示でみる・歩いてみる松戸の歴史②

「小金の遺跡～縄文遺跡～」(博物館・友の会共催)

5/19(土) 13:00～15:00

内容／講師と共に展示室または市内の旧跡を見学し、解説を聴くシリーズ第2回

講師／倉田恵津子(当館学芸員)

場所／企画展示室・講堂

定員／80名(当日先着順)

費用／200円(友の会会員は無料)

## ハイビジョン

入場無料

①13:15～②15:15～上映(土・日・祝休は11:00～も上映します) 会場／講堂 費用／無料

### ● 3/1(木)～31(土)

画家たちのプロバンス「日本への憧れ～ゴッホのアルル～」(26分)

### ● 4/1(日)～30(月・休)

国宝探訪「豊かな自然が美の塔を生む～若狭・明通寺～」(30分)

### ● 5/2(水)～31(木)

国宝探訪「天人が舞い降りて～奈良・薬師寺～」(30分)※講演会のため、5/12(土)は午後の上映を中止し、5/19(土)は13:15～の上映を中止します。

## エントランス展示

開催中～3/31(土)「菩薩半跏像(片岩製)」(1～4世紀、パキスタン)

4/1(日)～5/31(木)「浮彫(分舍利)」(2～5世紀、パキスタン)、「舍利容器」(3～4世紀、パキスタン)

## ガイドツアー(常設展示解説)

毎日午前10:00～・午後2:00～ 30分間(参加者は観覧料が必要です)

ハイビジョン上映の際、音声の聞き取りにくいお客様のために一部の席にヘッドフォンをご用意しております。係員に声をおかけください。

# 利用案内

●開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

●休館日 毎週月曜日(祝・休日の場合は開館し、翌日休館)、館内整理日(毎月第4金曜日)、燻蒸期間(6月25日～7月2日)、年末年始(12月28日～1月4日)

### ●常設展観覧料

一般	高校・大学生	小・中学生
300円(240円)	150円(100円)	100円(60円)

\*( )内は20名以上の団体料金です。企画展・特別展は別料金となります。

\*土曜日は小・中学生の観覧料無料。\*市内在住で70歳以上の方は観覧料無料。

### ●交通案内

①新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または、松戸新京成バス小金原団地循環・北小金駅行「公園中央口」下車1分。

②JR常磐線北小金駅下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口」下車1分。

※来館者専用の駐車場はありません。21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用下さい。

ホームページもご利用ください! [http://www2.city.matsudo.chiba.jp/m\\_muse/](http://www2.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/)

